

学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾
麻生外語観光&製菓専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 4 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 4 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について	- 4 -
2. 基準項目について	- 5 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生外語観光&製菓専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)
業界関係者	中村 仁美	ANA 福岡空港株式会社 旅客サービス部旅客サービス課 マネージャー
業界関係者	鈴木 毅剛	ANA 福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 貨物郵便課 アシスタントマネージャー
業界関係者	大屋 寿	株式会社 ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
業界関係者	柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
有識者	松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
有識者	鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長
高等学校	豊福 成史	福岡県立嘉徳東高等学校 校長
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
卒業生	堀部 豊和	本校 トラベル科 卒業生
保護者	荒木 幸枝	本校 エアライン科1年 保護者

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2021年6月16日（水曜日）14:30～16:20

場 所：麻生塾福岡キャンパス 8号館 5階851教室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係評価委員の皆さまに、2020年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、自己評価結果に対する意見をいただく。

5. 学校関係者評価（自己評価結果の評価）の仕方

2020年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

基準3 教育活動

- ・教育方法および学習指導は適切か
- ・授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法に改善を図るための取り組みを行っているか
- ・教員に対して、実務に関する研修等を企業等と連携して行っているか

基準7 学生募集

- ・募集活動において教育の成果を正確に伝えているか

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

法人及び学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は「学生便覧」に明文化をし、学生・教職員・非常勤講師にも配布し共有を行っている。また3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）も「学生便覧」に明文化し共有している。各ステークホルダーにはホームページを通して公表を行った。

【委員からの意見】

業界が求める人材像の変化を適切に把握することや振り返ることが大事である。

【改善の方策】

ホームページや学生便覧に明文化しているが、変更等あれば随時対応していく。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

学校の運営方針について、新型コロナウイルスの対応により全職員が集合してのキックオフができない中でもオンラインで動画・資料を共有でき周知することができた。

研修の開催が十分に行われない環境であったが、事務職員の意欲・資質の向上を図るために積極的に研修へ参加を促す。また研修内容を報告するシステムを構築し、他の事務職員と知識を共有することで資質の向上を更に図る。

【委員からの意見】

学校の運営方針を理解しているか定期的に確認することは必要である。運営方針を定期会議の場で周知リマインドされているのは良い。

【改善の方策】

オンラインを活用し、各会議体での周知徹底を図る

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

オンライン授業で本来の質が確保されたかは引き続き検証が必要だが、未経験であったオンライン授業への知識と技術を急速で身に付け運営ができたことは今後へつながる。学びの変化に対応しオンラインが定着できるような技術知識向上は不可欠である。

新型コロナウイルスの感染の影響で、本来目標としていた業種から進路変更を余儀なくされたが、他業種への進路教育を行い、就職内定を頂くことができた。

今年度、管理職によるオンライン授業見学や録画した授業動画の見学を実施しフィードバックを行った。新任教員には、法人による研修を実施すると共に、チューター、部門長による授業アドバイスをを行い授業力向上に努めている。しかし、教員間での知識・技術の格差はあり、それを改善するための取り組みが出来なかった。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、業界団体が主催する研修や企業と連携した研修の実施・参加ができていない。

【委員からの意見】

オンライン授業によって質の低下にならないように注意が必要。学生の理解や反応を把握する機会をもっと細かく設けると良いと感じる。

管理職によるオンライン授業見学を実施しフィードバックは、質の管理としても非常に良い。

学生の環境格差を無くすことが重要だと感じる

インターンシップについて、企業としても出社人数の削減や感染予防対策などがあり、受入れは実施が難しくなっている。代替案の検討が必要かと思われる。

新入社員の経験値も積めていない状況である。

【改善の方策】

オンライン授業への教員間の知識・技術の格差があるため、改善するための取り組みを行っていく。具体的には、教育推進グループと連携を取りながら、アンケート・授業見学の分析を行い、非常勤も含めた授業力向上につながる研修等を計画的に実行できるようにする。

インターンシップを受け入れる企業が減少したことで、学生が実体験を積む機会が減少した。代わりに業界人を招き、セミナーを開催することで学生に現場の生の声を聴く機会を提供していく。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

今年度、コロナ禍の影響でいくつかの検定が実施不可や大幅にずれ込んだ。その影響で学生がモチベーションを保てず合格率の低下にもつながっている。

進路決定率は例年と変わらず良い結果となったが、業界就職率は落ちている。同じグループ校に届く求人情報を早くから共有機会を設け、学生により多くの求人を紹介できるような体系を整えた。しかし、業界就職や就職活動への不安により退学に繋がった。

【委員からの意見】

新型コロナウイルスの影響で就職活動に不安を感じている学生へのケアが必要である。

コロナ禍における学生とのコミュニケーション方法のあり方を検討する必要がある。

【改善の方策】

対面での授業が減る環境の中でも学生一人一人の変化を見逃さないよう、学生とのガイダンスはもちろんのこと、必要に応じキャンパスライフサポートセンターと協力しながら退学防止に努めていく。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

コロナウイルスの感染防止対策として、毎朝の検温実施や、自己健康管理表による学生の健康状態の把握に努めた。就職支援では学内に就職担当を配置し求人票獲得、オンラインによる企業セミナーや選考会誘致など、希望する就職ができるよう支援を行っている。また就職部が導入した面接道場により、個別の面接対策強化を図ることができた。留学生の増加に伴い、留学生会を立ち上げ、学生とのつながりを深め、学校間での情報交換ができる環境を整えることで、問題点解決につながるなど、留学生のサポート体制が強化された。

【委員からの意見】

就職サポート以外にも、メンタル面・生活アドバイスがあると学生も安心できる。

【改善の方策】

オンラインを活用して、保護者会や三者面談なども実施。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適合

【評価結果・取組み状況】

オンライン授業の日常化に伴い、使用方法について遠隔で学生へ指導していくことの難しさがあった。引き続き環境整備は必要。

いくつかの学科ではインターンシップを実施できた。実施に際しては参加同意書を取り、安全面を考慮して実施ができた。また、オンライン留学と形を変えて実施した。

【委員からの意見】

教育を受ける環境整備を整えていく必要がある。

【改善の方策】

学生に対してPC所持のメリットをしっかりと伝えていく。また、端末の不具合が生じた際の対処法の共有を構築していく。wifi環境の整備等も促していくとともに、次年度よりパソコン所持の推奨と学内のWi-Fi環境増を進めていく。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

学校のアドミッションポリシーは募集要項、HP、学生便覧にて公開。募集活動は統一の入試マニュアルに沿って、公正かつ適切な選考を実施している。また、学生納付金等は毎年、検証を実施し、他の専門学校と比較しても妥当性のある範囲内での金額設定としている。

SNSを活用して、タイムリーに学生の成長を紹介。普段の学校生活の様子が分かるように情報を発信している。

【委員からの意見】

SNSの活用により時代にあった対応をされている。

【改善の方策】

WEB広報のあり方については、LINEやインスタグラムなどのSNSをさらに活用していく。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

経理グループとの毎月の予算執行状況の共有や必要に応じた法人内での協議、検討をもって適切な管理を行っている。監査報告書も含め、貸借対照表、収支計算書など財務諸表等を麻生塾の情報公開サイトにて、適切に公開。

【委員からの意見】

特になし

【改善の方策】

学校の教育力発信を通して、学生募集をさらに強化していく。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

各関係法令に基づき策定された学内諸規定のもと学校運営をしており、改定、変更があった場合は確実な整備と職員への周知徹底を継続。また、法人本部による研修等により、遵守意識と法令知識の醸成を行っている。

【委員からの意見】

特になし

【改善の方策】

特になし

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

定期的に第三者監査である自己点検・評価活動を実施、評価結果に基づき改善計画を策定、実行し内部質保証を担保している。

【委員からの意見】

教育の質の担保、内部の質保証は学校法人として学校運営の向上、強化を図る上で重要と捉え、積極的に情報公開に努めていただきたい。

【改善の方策】

自己点検・評価活動は、教職員がその意義・目的を十分に認識・共有し、教育活動をはじめとする諸活動全般の質的向上のために、自律的かつ真摯に取り組むことが求められる。そのため今後は一部の教職員だけではなく、全職員が同じ目線で自己点検・評価活動に取り組めるような体制作りを行う。活動の意義や必要性について全職員が理解を深めるために活動内容報告を適宜実施し横断的に活動の浸透を図る。

基準 11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適正

【評価結果・取組み状況】

学生のボランティア活動は推進委員会を設置し、例年では学校教育内容の特徴を生かした連携を図りながら推進しているが、今年度はコロナウィルス感染拡大の影響により、十分実施ができていない状況である。

【委員からの意見】

特になし

【改善の方策】

コロナウィルスの状況に負うところが大きいため、環境を注視しながら NPO 法人やボランティア団体等と連携し、機会拡充に取り組んでいく。

基準12 国際交流

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

【評価結果・取組み状況】

今年度はコロナ禍で実施ができていないものの、海外留学奨学制度の運用により、留学に興味をもった学生へのオンラインでの学ぶ機会を提供した。

【委員からの意見】

特になし

【改善の方策】

留学生の多様化により、日本語能力を高める教育力向上、学生一人ひとりのニーズ（ビザ申請、アルバイト紹介、就職支援など）に合わせた対応ができる体制強化が必要となる。そのため学生課、国際交流センター等と連携し、引き続き全教員の留学生対応に関する知識醸成を図ると共に、協力して学生に必要な支援を包括的に行う体制を確立していく。